



「家庭の省エネ講座」と題し、社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会の常任顧問の島村治雄さんが講演を行いました。地球温暖化によって世界がどのように変化しているのか、

また、地球温暖化を防止するために日本をはじめ、世界各国が取り組んでいること、そして皆さんの家庭で今すぐできる取り組みについて、事例を紹介しました。

2部・基調講演



会場内には、環境団体の取り組みなどを紹介するパネルが展示されました

～環境講演会を開催～

家庭での省エネに取り組もう！



講演会に参加できなかったかも、ぜひ実践を！

今すぐできる家庭での省エネ対策

- ・エアコンの温度設定（夏は28℃、冬は20℃）
- ・エアコンのフィルター清掃を月に1～2回行う
- ・冷蔵庫に物を詰め込みすぎない、開ける時間を短くする
- ・冷蔵庫の設定温度を冬と夏で切り替える
- ・冷蔵庫は壁から適切な間隔で設置する
- ・白熱球から電球型蛍光灯ランプに替える
- ・電気製品を使用しないときはコンセントを抜く
- ・テレビ、エアコン、冷蔵庫などの家電製品を購入するときには、省エネラベルを参考にして省エネタイプを購入する



パソコンなどの横にコンセントを置けば、抜きやすくなります。

【多段階評価制度】

・省エネ性能を五つ星から一つ星の5段階で表示。市場における製品の性能の高い順に五つ星から一つ星で示している。
* トップランナー基準を達成しているものがいくつの星以上であるかを明確にするため、星の下に矢印でトップランナー基準達成・未達成の位置を明示。

【省エネラベリング制度】

・トップランナー基準の達成のものには緑色のeマーク、未達成のものにはオレンジ色のeマークを表示。
・その他トップランナー基準の達成率およびエネルギー消費効率（年間消費電力量など）を表示。

【年間の目安電気料金】

・エネルギー消費効率（年間消費電力量など）を分かりやすく表示するために年間の目安電気料金を表示。

※トップランナー基準とは…

エネルギーの使用の合理化に関する法律で、エネルギーを多く消費する機器ごとに省エネ性能の向上を促すための目標基準を設けています。これがトップランナー基準です。



▶省エネラベル

<省エネラベル参考ホームページ>
http://www.eccj.or.jp/labeling_program/index.html

1部・町民環境活動報告会

開成町で環境活動をしている2団体が、日ごろの活動について発表しました。

◆開成町消費者の会
◆環境に対する取り組みにつなぐ

開成町消費者の会（発表者：遠藤道子さん）は、消費者生活に関する必要な知識の習得や調査研究などを行い、環境問題、衣食住の問題、悪徳商法にだまされないための運動（寸劇）など地域に密着した活動をしています。

報告会では、家庭のタンスに眠っている衣類、壊れた傘を利用したエコバック（買利物袋）作りや廃食油からできる石けん作りなどについて発表しました。

◆エコライフ開成の会

◆省エネ実践事例と環境家計簿のすすめ

エコライフ開成の会（発表者：大村武士さん）は、神奈川県知事から委嘱された地球温暖化防止活動推進員を中心に、「環境にやさしい暮らし」の普及啓発活動に取り組んでいます。

報告会では、「環境にやさしいライフスタイル」を提案し、最近、新聞などでも連日のように取り上げられている「地球温暖化」を防止するための「省エネ実践事例」と「環境家計簿」についてグラフや写真を使って発表しました。

※環境家計簿とは…

電気量やごみの量などから、二酸化炭素の発生量を計算できるようにした家計簿のこと

です。普段の生活の中で消費する電気、ガス、水道、ガソリンなどのエネルギーの使用量や支払金額を集計し、二酸化炭素の排出量を計算することで、排出量を削減し、家計費の節約にもつながります。

◆環境家計簿をつけてみよう

環境問題は、町民・事業者・町がそれぞれに、また連携して取り組んでいく必要があります。町では、地球温暖化、ごみ問題をはじめ、環境の保全に向けて、皆さんの声を聞きながら取り組みを進めていきます。

また、今後は町民モニターを募集し、実際に環境家計簿をつけていただく予定です。モニターへの参加にご協力をお願いします。

2月23日（土）、町民センター大会議室で環境講演会を開催しました。この講演会は、1部が町民環境活動報告会、2部が基調講演で、毎年さまざまなテーマで行っています。今回は「家庭でできる地球温暖化対策」がテーマで、約70人が参加しました。参加者たちは、「さっそく、家庭での省エネに取り組んでみたい」など、環境問題を身近に感じている様子でした。

◎環境防災課 ☎84-0314